

令和5年度子どもが出合う文化についてのアンケート結果概要

1 目的

「伊賀市文化振興プラン前期実行計画」では、基本方針の1つに「子どもたちが文化芸術を体感できる機会を拡充する」ことを掲げており、公益文化団体等と連携して文化に出合う機会の創出に取り組むこととしている。

この取り組みの効果検証や現状把握のため、小中学生（保護者）に文化に関するアンケートを実施する。

2 対象

市立小学校の2・4・6年の児童及び市立中学校の2年の生徒の保護者

2,652人（小学2年：608人、4年：656人、6年：700人、中学2年：688人）

※令和5年4月1日現在の在籍数（学校教育課）

3 実施

(1) 期間 2024（令和6）年1月10日から21日まで

(2) 方法 各学校を通じて配布したチラシに掲載のQRコードを読み取り、スマートフォン等から回答

4 回答状況

回答数 671人 / 対象 2,652人（回答率 25.3%）

5 アンケート結果

問1 アンケートの対象となるお子さんの学年を選んでください。

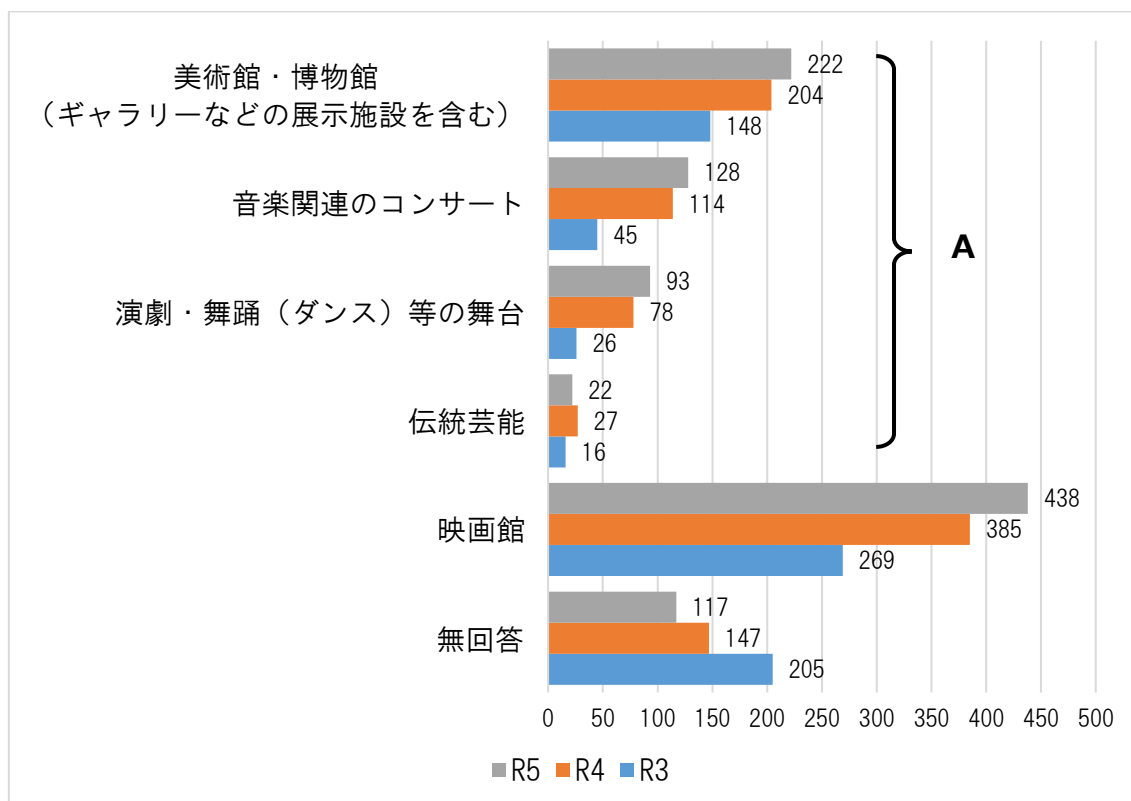
学年	回答人数	児童生徒数※	回答率
小学2年	202人	608人	33.2%
小学4年	176人	656人	26.8%
小学6年	176人	700人	25.1%
中学2年	117人	688人	17.0%
合計	671人	2,652人	25.3%

(参考)

令和4年度	669人	2,688人	24.9%
令和3年度	575人	2,769人	20.8%

問2 お子さんが、この1年間で出向いた市内外の施設・催しがあればすべて選んでください。（複数回答）

単位：人



1年間で会場へ赴くなどして文化芸術を鑑賞した子ども（A） 465人

（参考）令和4年度 423人

（参考）令和3年度 235人

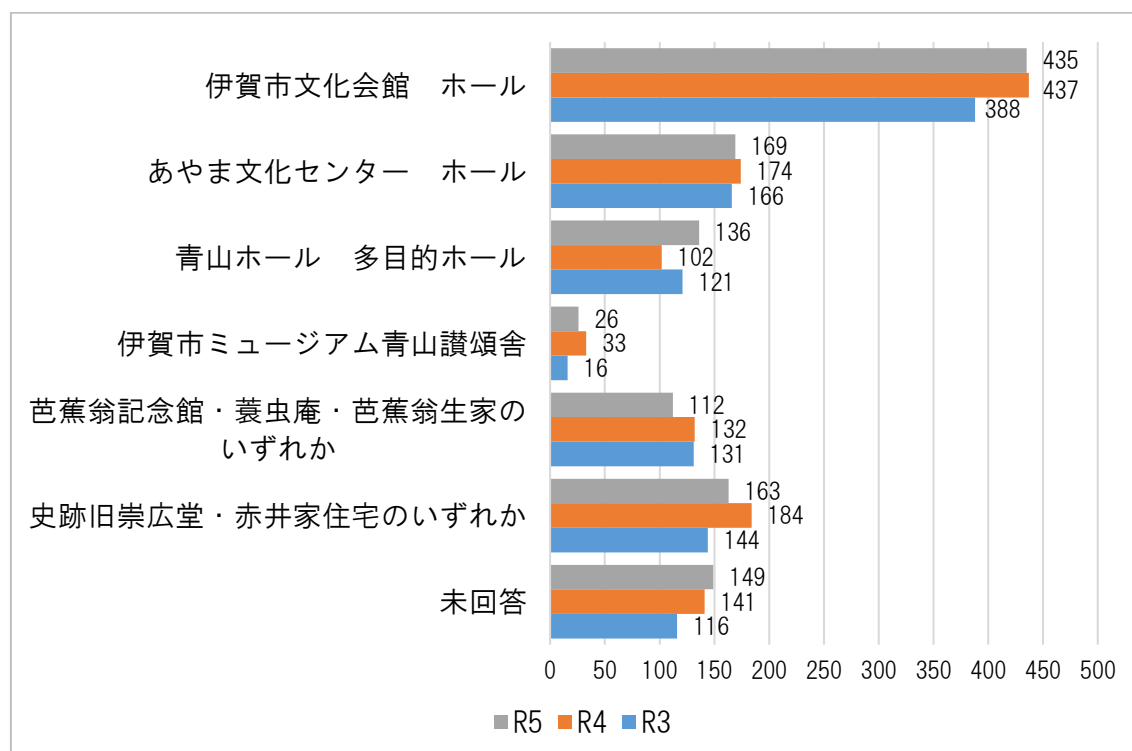
回答人数におけるAの割合 69.3%

（参考）令和4年度 63.2%

（参考）令和3年度 40.6%

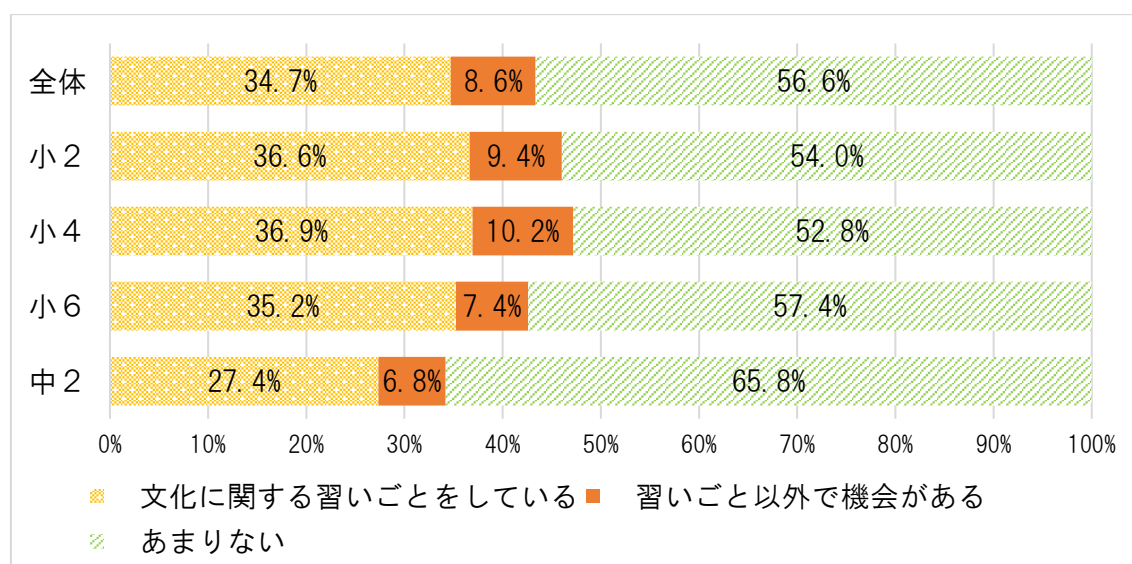
- ・文化芸術を鑑賞するために施設を訪れた子どもの割合は、前回より上昇している。
- ・問2では、出向いた施設・催しについての設問となっているが、問5で、学校アウトリーチで文化芸術を鑑賞できたなどの回答もある。

問3 お子さんがこれまでに利用したことのある公共施設をすべて選んでください。
(複数回答) 単位：人



・令和4年度、青山ホールでは改修工事による休館、史跡旧崇広堂・赤井家住宅では元永定正生誕100年記念事業の影響があったと考えられる。

問4 お子さんには文化芸術を体験する機会がありますか。



・文化芸術を体験する機会があまりないと回答している子どもが、全体で56.6%、小学2年生では54.0%、4年生では52.8%、6年生では57.4%、中学2年生では65.8%。中学2年生では、文化に関する習いごとをしている割合が少なくなっている。

問5 お子さんが文化芸術にもっと親しむために必要なのはどんなことですか。

(自由記述抜粋)

○子どもが気軽に参加できる、子どもたちだけで行ける・参加できる機会。

- ・近い場所。
- ・気軽な料金。
- ・静かに見たり聞いたりするルールや触ったり壊したりする不安がないこと。
- ・触らないように守られていること。
- ・おいしいものを食べながら見たり聴いたりできるイベントなど。
- ・敷居が高いと感じるイベントには参加しにくい。

○子どもが興味をもてる、楽しめる工夫。

- ・目を引くちらし、スタンプラリー、参加・体験型。
- ・他のイベントとセット。キッチンカー、お弁当付きなど。
- ・美術や音楽以外の自然科学や歴史などの分野など。

○保護者の負担が少ないこと。

- ・経済的・時間的・送迎等の負担がない。
- ・兄弟を連れていきやすい。

○保護者の興味、関心。

○学校の授業の一環で開催する。

- ・平等に触れる機会を作る。
- ・学校への出張演奏で興味が広がった。
- ・友達と体験を共有できて印象に残る。
- ・授業で関心を持ったことの延長で行えるとよい。
- ・自分で行くのは選択肢が狭い、敷居が高い。

○身近に施設（映画館、美術館、博物館、劇場など）があること。

○日常の中で触れられる場面（ストリートアート、ピアノなど）。

○学校で配布されるチラシ。

- ・チラシを見て参加している。
- ・崇広堂や赤井家住宅など市内で開催されていて参加しやすい。
- ・自分から探すことがあまりない。
- ・子どもへの情報提供。

○年間の日程や施設情報を案内するパンフレットやHP。